

平成24年度事業報告

公益財団法人千葉市国際交流協会

第1 事業の概要

平成24年度は、公益財団法人に移行した初年度であり、これまで以上に外国人市民を含む全ての市民や地域を対象に多文化理解推進、市民活動支援、外国人市民支援及び情報収集提供などを行った。多文化共生マスタープラン2年目として、プランに掲げる外国人市民と日本人市民が互いの文化の違いを認め合いながら共存する多文化共生社会の実現に向けて、各種事業を実施した。

多文化理解推進事業では、交流サロンや姉妹都市との青少年交流等を通じて多文化共生社会推進の啓発の拡充を図った。

市民活動支援事業では、ボランティアの登録・コーディネートを行うとともに、新規に行政職員等を対象に「やさしい日本語ガイダンス」を実施したほか、国際交流・国際協力活動をするボランティア団体、市民団体を支援した。

外国人市民支援事業では、外国人に対して生活相談や日本語学習支援を行ったほか、新規に「外国人のための防災教室」を「災害時サポーター養成講座」と併せて実施した。

情報収集・提供事業では、新たにフェイスブックを開設し、当協会からの情報発信のほか、閲覧者からの書き込みも可能とし、ネットワークを広げ、市民からだけでなく、姉妹都市を中心にこれまで以上に活発な交流を図ることができた。

受託事業として、千葉市から「千葉市国際交流プラザ」の運營業務及び国際交流員事業を受託したほか、財団法人自治体国際化協会からの国際化情報収集事業を受託し事業を実施した。

第2 実施事業の内容

1 自主事業

(1) 多文化理解推進事業

ア 交流サロン

市民と外国人市民が気軽にふれあい、交流し、情報交換や国際化の理解を深めることができる場を多く設け、多文化理解の推進を図った。

| 事業名 | 開催日 | 内容 会場 | 参加人数 (うち外国人) |
|-----------------|--------|--|-----------------|
| 親子三代夏祭り | 8月19日 | 親子三代夏祭りの「千葉おどり」参加 姉妹都市ノースバンクーバー市(カナダ)からの 来葉者(青少年交流事業による受入)も参加 参加者出身地数:14(カナダ、ウクライナ等) 千葉銀座通り周辺 | 105人 (47人) |
| 日本語スピーチ 大会 | 10月13日 | 千葉市国際交流協会及び地域の日本語教室で日本語を 学習している外国人(中国、南アフリカ、スーダン、 ウルグアイ等9カ国、13人)がその成果を披露した。 参加者出身地数:20(エクアドル、モンゴル等) 千葉市国際交流プラザ | 178人 (65人) |
| 外国人と日本人 の交流会 | 5月31日 | ①落語 ②ヨガ教室 ③マジックショー ④浴衣 体験 ⑤スマートフォン翻訳機(日・英・中)の デモンストレーション など 参加者出身地数:20(ブラジル、パキスタン等) 千葉市国際交流プラザ | 171人 (90人) |

| | | | |
|------|-------------|--|---------------|
| | 8月17日 | ①ノースバンクーバー市からの来葉者（青少年交流事業による受入）との交流 ②三味線の披露、体験 ③相撲甚句 ④ 剣舞、詩舞の披露及び衣装体験 ⑤マジックショー など 参加者出身地数：17（カナダ、ドイツ等） 千葉市国際交流プラザ | 108人 (33人) |
| | 12月1日 | クリスマスのお話し会 in English 参加者と共にクリスマスツリー等の飾り付けを行い、英語により各国のクリスマスを紹介 参加者出身地数：4（オーストラリア、アメリカ等） 千葉市国際交流プラザ | 27人 (6人) |
| | 12月16日 | 留学生交流員による「異文化交流サロン」 千葉市外国人留学生交流員4名（千葉大学（中国）、敬愛大学（ベトナム）、東京情報大学（ネパール）、神田外語大学（韓国））の出身地における文化紹介等 参加者出身地数：8（中国、ネパール、韓国、ベトナム等） 千葉市国際交流プラザ | 70人 (22人) |
| 文化紹介 | 9月19日 | 「英語で交流会」 英語を学習している小学6年生を対象に英語にて各国の文化紹介等を行った。 参加者出身地数：8（中国、ネパール、タイ等） 千葉市立都賀小学校 | 177人 (8人) |
| | 11月5日 | ネパール文化紹介 平成23年度の留学生交流員が中心となり、出身地であるネパールの文化紹介等を行った。 参加者出身地：ネパール 若葉はづき会館 | 37人 (4人) |
| | 12月13日 | 「いろいろな国について知ろう」 「総合的な学習の時間」に諸外国の文化等を調べている小学3年生を対象に各国の文化紹介を行った。 参加者出身地数：2（チュニジア、タイ） 千葉市立真砂西小学校 | 98人 (2人) |
| | 2月8日 27日 | 「国際理解教育授業 Let's Talk！」 「国際理解教育活動」及び「外国語活動」の一環として行われる小学校5、6年生の授業に外国人が参加し、英語で交流を図った。 参加者出身地数：7（中国、インドネシア等） 千葉市立小中台小学校 | 307人 (10人) |
| | 3月7日 | 日本の着物、茶道体験 市内日本語学校の学生に、日本の着物と茶道を紹介した。 参加者出身地：韓国 千葉市国際交流プラザ | 14人 (6人) |

イ 語学講座

国際理解の向上とボランティア活動のスキルアップを図るため、ボランティア及び賛助会員を対象に語学講座を実施した。

| 講座名 | 期間 | 受講時間数 | 講師 | 受講者 |
|---------------|------------------|---------|----------------------|-----|
| 英語サロン(前期・中上級) | 6月5日～ 7月12日 | 2時間×10日 | 国際交流員 中西-スタニス 慧理果 | 23人 |
| 英語サロン(後期①・初級) | 10月2日～ 12月11日 | 2時間×10日 | 国際交流員 ジーナ リベラ | 17人 |
| 英語サロン(後期②・初級) | 1月10日～ 3月11日 | 2時間×10日 | 国際交流員 ジーナ リベラ | 14人 |
| 初級中国語講座 | 6月6日～ 8月8日 | 2時間×10日 | 律津氏 | 14人 |

ウ 青少年交流(市補助)

姉妹都市における市民レベルでの交流を図り、次代を担う青少年がお互いの国の文化や歴史、生活等について理解を深めるため、青少年交流事業を実施した。受け入れに際しては、受入家庭のみならず、広く市民との交流ができるようなプログラムを組むことで市民の多文化理解の推進を図った。

| 内容 | 期間 | 参加者 |
|----------------------|---|-------------------------|
| ノースバンクーバー市 (43回目) | (受入) 8月8日～22日 「外国人と日本人の交流会」における市民との交流、蕎麦打ち体験、親子三代夏祭りでの神輿担ぎ・千葉おどりの参加、箱根方面へ1泊2日の自然体験学習、市長表敬訪問等 (派遣) 中止 23年度ノースバンクーバー市からの派遣中止要請により、現地での受入調整できないことによる中止 | 高校生4人 引率者1人 |
| ヒューストン市 (30回目) | (受入) 7月1日～15日 千葉市立泉谷中学校での授業参加、千葉市動物公園・モノレール基地・きぼーる見学、市長・教育長表敬訪問、房総方面へ1泊2日の自然体験学習、前年度派遣生と共に浅草寺・江戸東京博物館等の見学等 | 中学生4人 引率者1人 |
| モントルー市 (15回目) | (派遣) 7月29日～8月13日 公式レセプション・建国記念日式典出席、市内見学、小学校での日本文化の紹介 研究レポートテーマ 「モントルーでの英語教育」、「スイスのエネルギーのこれから」、「モントルー市のリサイクルについて」、「スイスと日本における音楽文化の違い」、「モントルーの学校教育と英語の学習」 | 大学生3人 高校生1人 引率者1人 |

エ 地域連携コーディネーター事業

外国人市民と日本人の相互理解の促進による多文化共生を実現し、お互いに住みやすい地域社会を築いていくために、行政、学校、ボランティア、自治会等との間の連携を図ったほか、国際化情報収集を行った。

| 内容 | 場所 |
|---|-----------------|
| 高浜地区保育所職員研修 (中国における習慣や文化、役に立つ中国語等の紹介) | 美浜区内保育所 |
| 美浜区保健福祉センター健康課支援事業 中国人が集住する美浜区での保健福祉センター健康課に関する様々な通訳、翻訳業務(子どもの健康診断に関する通訳・保健師の家庭訪問に関する書類や予防接種に関する資料の翻訳など) | 美浜区 保健福祉センター |
| 外国人市民住宅説明会 市営住宅入居説明会での通訳及び千葉市での生活に関するアドバイス | 千葉市 住宅供給公社 |

| | |
|--|----------------|
| 外国人のための多言語支援センターと避難所宿泊訓練参加による情報収集 | 船橋市海神小学校 |
| 外国人法律相談（協会事業）における通訳及び「ちば市政だより」の中国語への翻訳（千葉市生活情報誌発行事業） | 千葉市 国際交流プラザ |

オ 多文化共生推進啓発事業

市及び関係団体主催のイベントや協会のイベントにおいて、広く一般に多文化共生社会推進事業の説明や、関連する協会の国際交流ボランティア制度や活動紹介を行った。また、外国人留学生やボランティアの協力による外国文化体験や行政書士の協力による無料生活相談などを通して、外国人市民と日本人市民の相互理解促進を図った。

| イベント名称等 | 内容 |
|--|--|
| 稲毛区役所出張窓口 5月30日 敬愛大学稲毛キャンパス | 留学生を中心に、転入・転出手続き、外国人登録、国民健康保険、国民年金（学生納付特例制度）などの各種情報提供や相談 相談者出身地：ベトナム等4か国 協会事業紹介 |
| 美浜区民フェスティバル 10月7日 稲毛海浜公園 | 相談件数40件（うち行政書士による無料相談9件） 相談者出身地：カナダ等8か国 ボランティア募集、協会活動PR資料配布（300部） 災害時啓発用備蓄食糧の配布（200食） |
| 中央区ふるさとまつり 10月21日 中央公園 | 相談件数36件（うち行政書士による無料相談4件） 相談者出身地：インド等8か国 ボランティア募集、協会活動PR資料配布（300部） 災害時啓発用備蓄食糧の配布（350食） |
| ちば市民活力創造フェア 11月17・18日 きぼーる | ボランティアの活動紹介や協会事業の紹介用パネル展示等 ボランティア及び賛助会員募集のチラシの配布 |
| ボランティアフェア 11月23日～12月6日 千葉市生涯学習センター | ボランティアの活動紹介や協会事業の紹介用パネル展示等 ボランティア及び賛助会員募集のチラシの配布 |
| 千葉大学中国人留学生新年会 1月5日 千葉大学留学生寮ホール | 協会事業紹介（日本語学習支援、外国人災害時支援、外国人生活相談等） 協会情報誌「ふれあい」、千葉市生活情報誌中国語版等の配布 |

カ 職場体験受入

学生に対し、就業体験の場を提供し、体験を通じて国際交流・国際協力事業を理解してもらうことで多文化共生社会実現に向けて理解推進を図った。

| 期間 | 対象 | 内容 |
|-----------------|---|--|
| 6月26日～ 9月25日 | 平成23年度千葉市外国人留学生交流員(千葉大学・台湾出身) (インターンシップ) | 窓口対応や翻訳・通訳業務を中心に、小学校での文化紹介や九都県市合同防災訓練での通訳等を実施した。 |
| 8月17～20日 | 千葉市国際交流課 インターンシップ学生2人 | 異文化交流サロン業務（外国人と日本人の交流会及び親子三代夏祭り）及び相談窓口補助 |
| 6月28・29日 | 千葉市立真砂中学校2年生2人 | 国際交流サロンでの事業補助ほか協会事業全般及び外国人へのインタビューのレポート作成 |
| 11月7・8日 | 千葉市立稲毛中学校2年生2人 | 国際交流サロンでの事業補助ほか協会事業全般及び外国人へのインタビューのレポート作成 |

(2) 市民活動支援事業

ア ボランティアコーディネート

市民が個々に有する能力を有効に活用し、地域に根ざした国際交流・国際協力事業の推進を図るため、通訳や日本語学習支援、ホストファミリー等のボランティアの登録・コーディネートを行った。

| 内 容 | 登 録 (件) | 幹 旋 (件) |
|---------|---------|---------|
| 通訳 | 498 | 14 |
| 災害時語学 | 203 | 2 |
| 翻訳 | 355 | 50 |
| ホームステイ | 119 | 19 |
| ホームビジット | 203 | 20 |
| 文化紹介 | 183 | 14 |
| 日本語学習支援 | 798 | 352 |
| 学校派遣 | 119 | 7 |
| 国際交流支援 | 449 | 24 |
| 合 計 | 2,927 | 502 |

* 22～23年度に財団法人自治体国際化協会（CLAIR）の補助事業として実施した外国人児童支援事業については、千葉大学との協働により退職教員を通じて実施した。鶴沢小学校（8人）及び葛城中学校（2人）

イ ボランティア研修

(ア) 日本語学習支援ボランティア講座

外国人市民に対し、日常生活に必要な日本語の学習を支援するボランティアの育成を図るための講座を実施した。

| 講 座 | 内 容 | 受講時間 | 開催数 | 講 師 | 受講者 |
|-----|--------------------------------------|---------|-----|----------|-----|
| 入 門 | これから日本語学習支援を始めるボランティアのための基礎的な予備知識の習得 | 2時間×1日 | 4回 | 伊藤 三枝子 氏 | 90人 |
| 養 成 | 具体的な日本語学習支援の方法を学ぶボランティアのための講座 | 3時間×16日 | 1回 | 伊藤 三枝子 氏 | 30人 |

(イ) 日本語学習支援ボランティア意見交換会

日本語学習支援ボランティアがお互いの情報交換や交流を行ったほか、外部講師による講座を開催し、ボランティア活動の一助とした。

| 内 容 | 開 催 日 | 講 師 | 参加者 |
|---------------------------------------|--------|--------------|-----|
| 意見交換：日本語学習支援時の教材 講義：外国人の抱える在留関係の悩み | 12月14日 | 行政書士 西 正一郎 氏 | 11人 |

(ウ) やさしい日本語ガイダンス

外国人と接している行政の窓口職員や日本語学習支援ボランティアに対して、「やさしい日本語」の有効性を知り学ぶ研修会を在住外国人への対応が円滑になるよう開催した。

| 内 容 | 開 催 日 | 講 師 | 参加者 |
|----------------------------------|-------|---------------|------------------|
| やさしい日本語についての講義 やさしい日本語ワークショップ | 1月16日 | 協会職員 廣田 将克 | 32人 (うち7人外国人) |

ウ 国際交流・国際協力団体活動助成（市補助）

市内のボランティア団体による在住外国人支援活動・国際交流・国際協力の促進を図るため、事業に要する経費の一部を助成した。在住外国人支援、地域での多文化理解推進に資する活動を優先的に助成した。

| 内 容 | 助 成 団 体 数 |
|---|-----------|
| 民間ボランティア団体の自主的な国際交流・国際協力活動の促進を図るため、市民団体の活動事業に要する経費の一部について助成 | 12 団体 |

エ ちば市国際ふれあいフェスティバル支援

外国人市民と日本人市民の交流の場を創出するとともに、参加団体相互の連携を図るために開催される「ちば市国際ふれあいフェスティバル」において、当協会は事務局として支援を行った。

| 内 容 | 開 催 日 | 場 所 | 参 加 団 体 | 来 場 者 |
|---------------------------------|-------|------|--------------------------|-----------|
| ステージ発表、体験コーナー、パネル展示による活動紹介、バザー等 | 2月17日 | きぼーる | 国際交流団体 32 団体 329 人 | 約 1,900 人 |

オ 日本語教室ネットワーク

市内の日本語教室 27 か所を協会のホームページに掲載し紹介する等、ネットワーク化により利用者の利便を図った。

| 内 容 | 各 区 活 動 把 握 団 体 数 |
|----------------|---|
| 日本語教室を実施している団体 | 中央区：7 花見川区：3 稲毛区：5 緑区：2 美浜区：10 若葉区：0 計 27 団体 |

カ 国際交流関係事業に係る後援等

国際性、公益性のある事業で国際交流・国際協力推進上有益であると認められた 2 3 の事業等について後援した。

(3) 外国人市民支援事業

ア 外国人生活相談

外国人市民に対し、言語や習慣の違いから生じる日常生活の問題を解決するための窓口を設け、相談の対応及び情報提供を行った。また、電話の三者間通話機能を利用したの電話通訳サービスや市役所コールセンターへの多言語対応等の協力を行った。

| 内 容 | 言 語 | 方 法 | 備 考 |
|-------------|-------------------|---------------|--------------------------|
| 外国人市民に対する相談 | 英語、中国語、韓国語、スペイン語等 | 協会窓口、電話、Eメール等 | 件数については、国際交流プラザ（受託事業）に記載 |

イ 外国人法律相談

外国人市民が直面する法律的問題を解決するため、千葉県弁護士会の協力により無料法律相談を実施した。

| 内 容 | 回 数 | 件 数 | 会 場 |
|--------------|-------------------------|------|------------|
| 日常生活に関する法律相談 | 毎月 1 回 (うち 4 回は夜間開催) | 28 件 | 国際交流プラザ会議室 |

ウ 留学生学習奨励（市補助）

市内大学に通う本市在住の私費留学生の学習支援及び、多文化共生社会の実現に寄与する留学生社会のキーパーソンの育成を目的に、留学生交流事業を実施した。

| 内 容 | 対 象 | 内 訳 |
|---|----------------------------|--|
| ・外国人留学生交流員による異文化交流サロン（12/16）の主催 ・千葉市が実施する「外国人市民懇談会」への出席 ・協会事業への協力 | 市内在住・在学の私費留学生（大学から推薦を受けた者） | 市内 4 大学から各 1 名 千葉大学（中国） 神田外語大学（韓国） 敬愛大学（ベトナム） 東京情報大学（ネパール） |

エ 災害時における外国人市民支援

(ア) 各種防災訓練への参加

| 名 称 | 実施日 | 会場 | 参加人数 |
|------------------------|--------------|----------------------|---|
| 第33回九都県市合同防災訓練 | 9月1日 | 宮野木中央公園他 | 26人 (うち外国人16人) |
| 千葉中央ツインビル 総合防火・防災訓練 | 9月3日 3月5日 | 千葉中央ツインビル、 千葉中央公園 | 9月：25人 (うち外国人11人) 3月：20人 (うち外国人5人) |

(イ) 災害時外国人サポーター養成講座及び外国人のための防災教室(千葉県との共催)

| 内 容 | 場 所 |
|---|---------|
| 災害時サポーター養成講座 61人(うち外国人1人) 1月19日 災害時に外国人が直面する課題とボランティアの役割について講義 1月26日 災害時多言語支援センター開設・運営訓練及び避難所巡回訓練 | きぼーる会議室 |
| 外国人のための防災教室 30人(うち外国人30人) 1月26日 地震発生時の対応及び避難所についての講義 避難所体験訓練、非常食試食 | |

(ウ) 災害対策マニュアル策定

災害時の迅速な対応を可能にするため、「CCIA 防災マニュアル」を策定し、災害(地震・火災など)が起こった際の当協会の体制(職員の行動・連絡体制・外国人市民への情報提供など)の確立を図った。

(4) 情報収集・提供事業

ア ホームページ運営

協会の活動内容や外国人市民の生活に必要な情報等について、インターネットを通じて幅広く発信した。

10月よりフェイスブックを開始し、既存のブログとあわせて情報の提供頻度・量の充実を図った。新しい在留制度の導入の際や洪水対策時の情報提供などやさしい日本語を中心とした情報を即座に提供するように努めた。

| 内 容 | 時 期 | 対 象 |
|--|------|-----------|
| 協会事業、生活情報、イベント情報等を提供 (日本語・英語・中国語・韓国語・スペイン語・フィリピン語・ポルトガル語) | 随時更新 | 市民、外国人市民等 |

イ 協会情報誌「ふれあい」(日本語)発行

協会事業の案内及び報告、国際交流・理解等に関する知識及び意識の向上を図るため、市民向けに情報誌を発行した。

| 内 容 | 部 数 | 発 行 | 配布先等 |
|--------------------------|---------|-----------------------|-----------------------------|
| 「ふれあい」発行 72～75号(6ページ) | 各3,000部 | 6月、9月、12月、3月 (年4回) | 賛助会員、市内公共施設、 ホームページへの掲載等 |

ウ 千葉市生活情報誌発行

外国人市民に対し、市民生活に密着した生活情報である市政だより等の有益な情報を外国語に翻訳し、ホームページや各区外国人登録窓口、日本語教室等を通して、提供した。

| 内 容 | 部 数 | 発 行 | 配布先等 |
|---------|--------|-----|-----------------------------|
| 英語 | 100部/月 | 月1回 | 各区窓口、日本語教室、市内大学、ホームページへの掲載等 |
| 中国語 | 150部/月 | | |
| やさしい日本語 | 100部/月 | | |

エ 情報ラウンジ

外国語の雑誌・新聞や国際交流・国際協力に関する図書等を整備するとともに、情報コーナーにおいて、協会の多文化共生促進活動やボランティア活動などについての情報提供、また市民間の情報交換用ボードを設置するなど外国人市民と日本人市民の交流の場を提供した。また、インターネットコーナーにおいてパソコンを設置し、自由に情報収集できる場の提供を行った。

| 内 容 | 時 期 | 場 所 |
|--|-----|---------------|
| 国際交流・国際協力などに関する関係図書等の整備 (定期購読 4紙・誌) | 通年 | 国際交流プラザ情報ラウンジ |
| ふれあいボード(市民間情報交換用掲示板) | | |
| 情報収集用パソコン | | |

2 受託事業

(1) 千葉市から委託を受けた国際交流事業の実施

ア 千葉市国際交流プラザ運營業務

国際交流や外国人市民に対する相談、情報の提供などの場である「千葉市国際交流プラザ」の運營業務を受託した。24年度より、キッズコーナーを設け、子連れでの利用がしやすくなるよう配慮した。

施設利用状況 開館日数 293日

| | 会議室 | 国際交流ラウンジ | | | | 合 計 |
|-----|-------|-------------|-------------------|-----------------|--------|--------|
| | | 日本語学習 支援 | 外国人相談 | インターネット コーナー | 小 計 | |
| 件 数 | 565 | 5,696 | 1,409 (窓口:778) | 84 | 7,189 | 7,754 |
| 人 数 | 7,025 | 11,405 | 1,199 (窓口:635) | 84 | 12,688 | 19,713 |

イ 国際交流員事業

千葉市の国際交流推進のため、多文化理解推進事業における通訳や文化紹介、語学講座での講師等のほか、外国人市民への案内文書等の翻訳を実施した。

(2) 財団法人自治体国際化協会から委託を受けた国際交流事業の実施

ア 国際化情報収集事業

地域の多文化共生社会実現のために、保育士への研修、外国人参加の防災訓練や市営住宅入居アドバイスなど地域連携コーディネート事業における業務に関連して地域国際化の動向にかかる情報を収集した。

第3 賛助会員(平成25年3月31日現在)

東日本大震災の影響による市内外国人住民数の減少や会員の高齢化などにより、前年度に比べ個人会員が減少した。一方、法人会員は、HPでの法人会員へのリンク掲載等の特典や賛助依頼に努めたことにより増加した。

| 区 分 | 合 計 | 内訳1(日本人・外国人) | | 内訳2(一般・学生) | | 内訳3(金額) | | | |
|-------|-------|------------------|-------|------------|-------|-----------|-------|---------|------|
| | | | | | | | | | |
| 個 人 | 558 人 | 日本人 | 441 人 | 一般 | 441 人 | 2,000 円以上 | 441 人 | | |
| | | | | 学生 | 0 人 | 1,000 円 | 0 人 | | |
| | | 外国人 | 117 人 | 一般 | 91 人 | 2,000 円 | 0 人 | 1,000 円 | 45 人 |
| | | | | | | 2,000 円以上 | 46 人 | 1,000 円 | 21 人 |
| | | | | 学生 | 26 人 | 1,000 円 | 21 人 | 2,000 円 | 5 人 |
| | | | | | | 2,000 円 | 5 人 | | |
| 法人・団体 | 93 団体 | (1 口 10,000 円以上) | | | | | | | |